

2020年度第1四半期 財務関連資料

2020年8月31日

みずほフィナンシャルグループ

MIZUHO

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において入手可能な情報並びに事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに影響を与える不確実な要因に係る本資料の作成時点における仮定（本資料記載の前提条件を含む。）を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

また、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性等が含まれております。これらのリスクや不確実性の原因としては、与信関係費用の増加、株価下落、金利の変動、外国為替相場の変動、保有資産の市場流動性低下、退職給付債務等の変動、繰延税金資産の減少、ヘッジ目的等の金融取引に係る財務上の影響、自己資本比率の低下、格付の引き下げ、風説・風評の発生、法令違反、事務・システムリスク、日本及び海外における経済状況の悪化、規制環境の変化その他様々な要因が挙げられます。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書（ディスクロージャー誌）等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F年次報告書等の米国開示書類等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

当社は、東京証券取引所の定める有価証券上場規程等により義務付けられている場合を除き、新たな情報や事象の発生その他理由の如何を問わず、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しを常に更新又は改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

本資料は、米国又は日本国内外を問わず、いかなる証券についての取得申込みの勧誘又は販売の申込みではありません。

本資料における計数、表記の定義

FG: みずほフィナンシャルグループ
 BK: みずほ銀行
 TB: みずほ信託銀行
 SC: みずほ証券
 AM One: アセットマネジメントOne
 IR: みずほ情報総研
 RI: みずほ総合研究所

RBC: リテール・事業法人カンパニー
 CIC: 大企業・金融・公共法人カンパニー
 GCC: グローバルコーポレートカンパニー
 GMC: グローバルマーケットカンパニー
 AMC: アセットマネジメントカンパニー
 GPU: グローバルプロダクツユニット
 RCU: リサーチ&コンサルティングユニット

2行合算: BK、TBの単体計数の合算値

グループ合算: BK、TB、SC、AM One及び主要子会社等の計数を集計した管理計数

カンパニー管理ベース: 各カンパニーが集計した管理計数

連結業務純益: 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整

親会社株主純利益: 親会社株主に帰属する当期純利益

為替レート

▶ 財務会計（期末TTM）

	19/6末	20/3末	20/6末
USD/JPY	107.75	108.83	107.74
EUR/JPY	122.46	119.65	121.05

▶ 管理会計（計画レート）

	20年度
USD/JPY	108.00
EUR/JPY	118.80

目次

- P/Lの概要	P. 4
- カンパニー別業績	P. 5
- B/Sの概要	P. 6
- 国内貸出金	P. 7
- 海外貸出金	P. 8
- 外貨ファンディング	P. 9
- 非金利収支	P. 10
- 営業経費	P. 11
- 有価証券ポートフォリオ	P. 12
- アセットクオリティ	P. 15
- 海外貸出ポートフォリオ	P. 16
- バーゼル規制関連	P. 17
- CET1比率と株主還元方針	P. 18
- (参考)新型コロナ禍における取組み	P. 19

P/Lの概要

(億円)

	19/1Q	20/1Q	YoY	FY20 計画	進捗率
1 連結粗利益	5,217	5,695	+478		
2 資金利益	1,799	2,151	+351		
3 役務取引等利益+信託報酬	1,484	1,701	+216		
4 特定取引利益+その他業務利益	1,932	1,843	△ 89		
5 うち国債等債券損益	633	409	△ 223		
6 営業経費	△ 3,284	△ 3,404	△ 120		
7 連結業務純益+ETF関係損益等*	1,918	2,202	+284	5,700	38%
8 連結業務純益	1,882	2,317	+434		
9 連結コア業務純益(8-5)	1,249	1,907	+657		
10 与信関係費用	△ 16	△ 390	△ 373	△ 2,000	
11 株式等関係損益-EETF関係損益等*	246	△ 15	△ 261	800	
12 株式等関係損益	282	△ 129	△ 411		
13 持分法による投資損益	114	58	△ 55		
14 その他	△ 114	△ 75	+39		
15 経常利益	2,198	1,754	△ 444	4,000	43%
16 特別損益	△ 24	6	+31		
17 税金等調整前当期純利益	2,173	1,760	△ 412		
18 法人税等	△ 512	△ 535	△ 22		
19 非支配株主に帰属する当期純損益	△ 36	△ 1	+34		
20 親会社株主純利益	1,624	1,223	△ 400	3,200	38%

* ETF関係損益(2行合算)+営業有価証券等損益(SC連結)。19/1Q 35億円、20/1Q △114億円

カンパニー別業績

(億円)

グループ合算、管理会計

	業務粗利益 *1		経費 (除く臨時処理分等) *2		業務純益 *1*3		四半期純利益 *1		ROE *4
	20/1Q	YoY *5	20/1Q	YoY *5	20/1Q	YoY *5	20/1Q	YoY *5	20/1Q
リテール・事業法人カンパニー (RBC)	1,426	△90	△1,613	+47	△175	△49	△218	△63	-
大企業・金融・公共法人カンパニー (CIC)	1,168	+117	△531	△27	652	+100	361	△146	6.6%
グローバルコーポレートカンパニー (GCC)	1,130	+105	△610	△35	547	+67	293	△198	8.5%
グローバルマーケッツカンパニー (GMC)	1,686	+309	△527	△30	1,156	+279	801	+186	18.5%
アセットマネジメントカンパニー (AMC)	114	△13	△79	+1	16	△13	7	△7	2.5%
FG連結	5,580	+327	△3,406	△20	2,202	+284	1,223	△400	6.3%

*1: GMCには2行合算のETF関係損益を含む。FG連結には2行合算のETF関係損益、SC連結の営業有価証券等損益を含む *2: 経費(除く臨時処理分)一のれん等償却

*3: 業務粗利益－経費(除く臨時処理分等)＋持分法による投資損益一のれん等償却 *4: 各カンパニーのROEは、当期純利益÷内部リスク資本(規制上のリスクアセット、バンキング勘定の金利リスク等に基づき算出された内部管理計数)にて算出。FG連結のROEは財務会計ベース(その他有価証券評価差額金を除く) *5: 前年同期の計数を20年度管理会計ルールに組み替えて算出

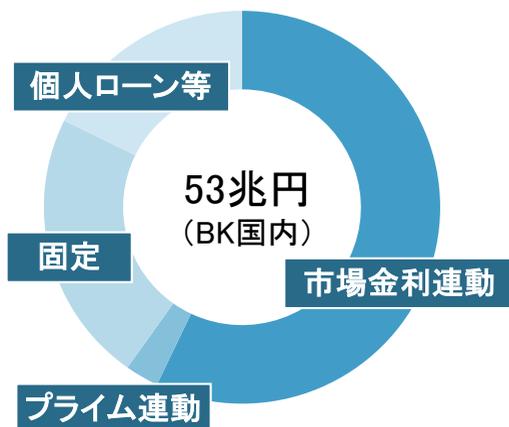
B/Sの概要(2020年6月末)

連結、()内は20/3末比

総資産：220兆円 (+5.9兆円)

リスクアセット：65兆円 (+3.0兆円)

円貨貸出金^{*1}



日銀当座預金(2行合算)
：32兆円 (+0.5兆円)

貸出金

88兆円 (+5.3兆円)

円貨 ^{*1}	56兆円
外貨 ^{*1}	3,083億ドル

有価証券

39兆円 (+4.4兆円)

日本国債	16.5兆円
外国債券	13.4兆円
日本株式	3.1兆円

その他

92兆円 (△3.8兆円)

現金預け金	39.5兆円
-------	--------

預金・譲渡性預金

150兆円 (+5.7兆円)

円貨 ^{*1}	122兆円
外貨 ^{*1 *2}	2,522億ドル

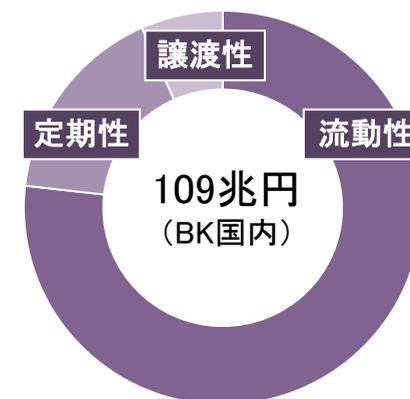
その他

61兆円 (+0.1兆円)

純資産

8兆円 (+0.0兆円)

円貨預金^{*1}



うち 個人預金：約44兆円

レバレッジ比率：4.65% (+ 0.57%)

流動性カバレッジ比率^{*3}
：125.2% (△12.1%)

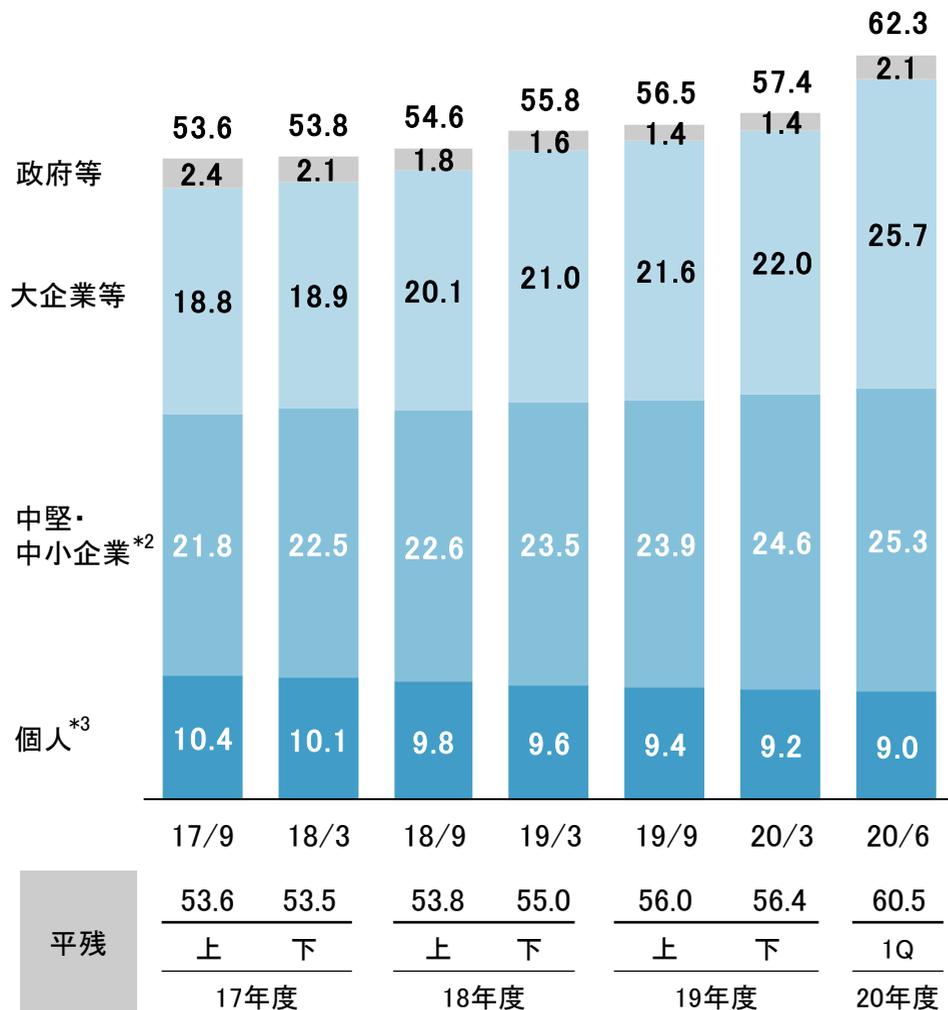
*1: 内部管理ベース、概数 *2: 顧客預金 *3: 20年度1Q実績、()内は19年度4Q比

国内貸出金

残高^{*1} (末残)

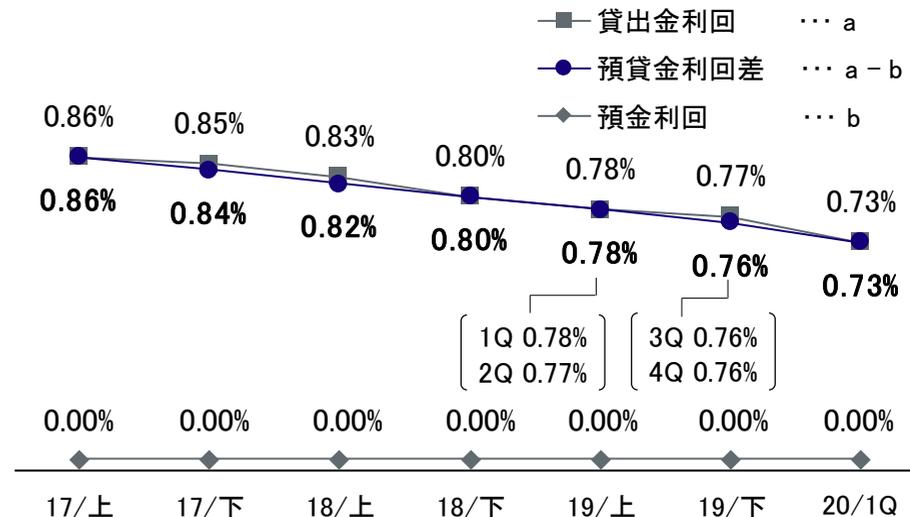
2行合算

(兆円)



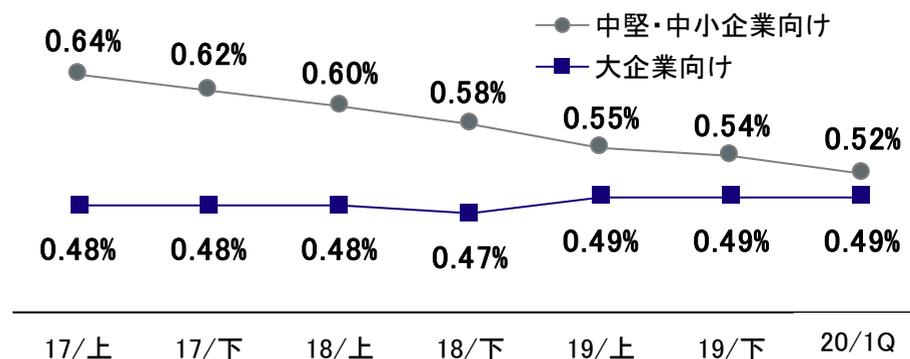
預貸金利回差^{*4}

2行合算



貸出金スプレッド

BK、管理会計



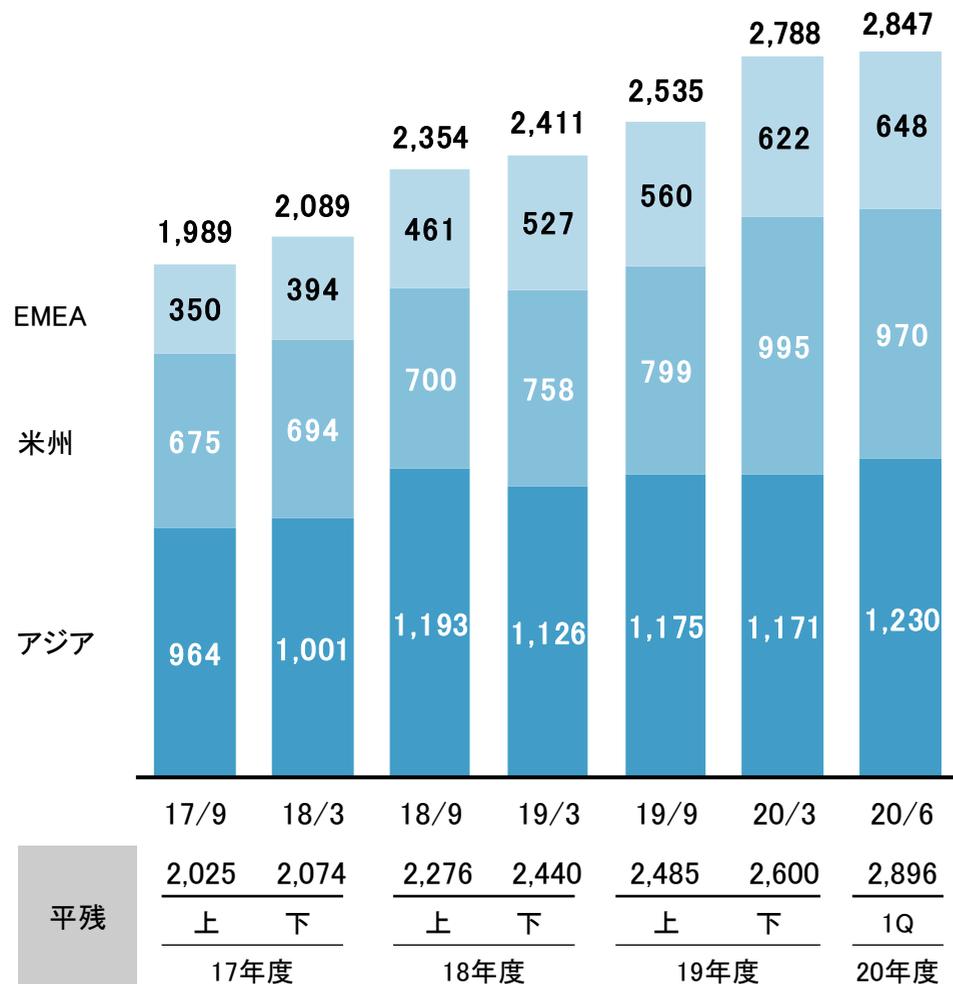
*1: FG向け貸出金を除く。銀行勘定 *2: 中小企業等貸出金から消費者ローンを控除した金額 *3: 消費者ローン残高 *4: 金融機関向け貸出金 (FGを含む)・政府等向け貸出金を除く。国内業務部門

海外貸出金

残高^{*1*2} (末残)

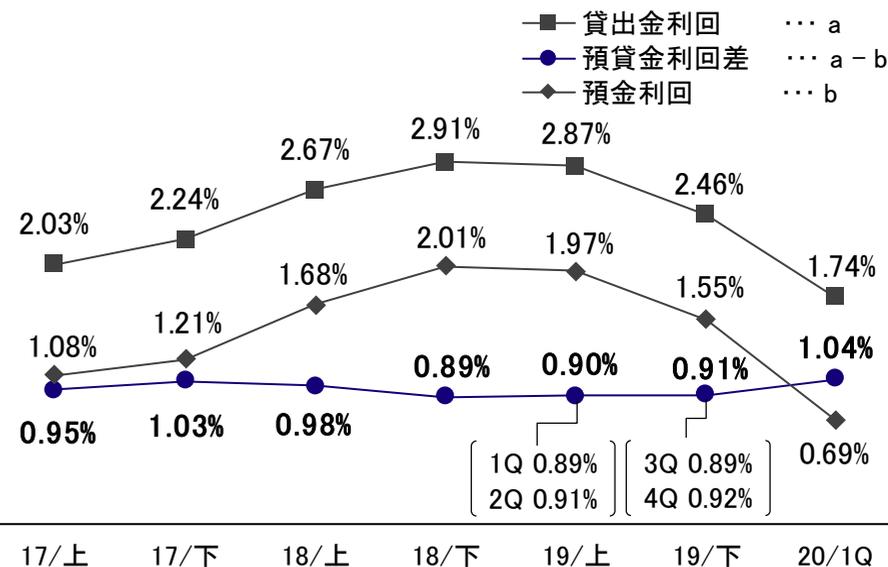
BK、管理会計

(億ドル)



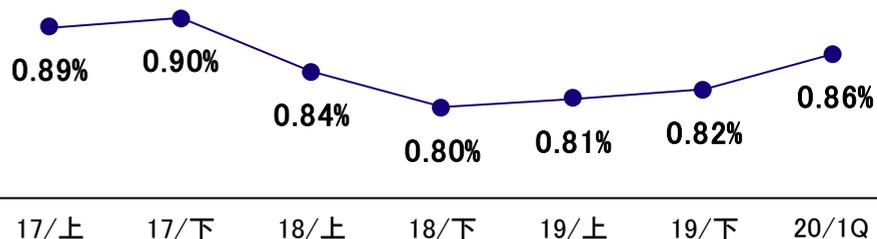
預貸金利回差

BK海外店



貸出金スプレッド^{*1*2}

BK、管理会計

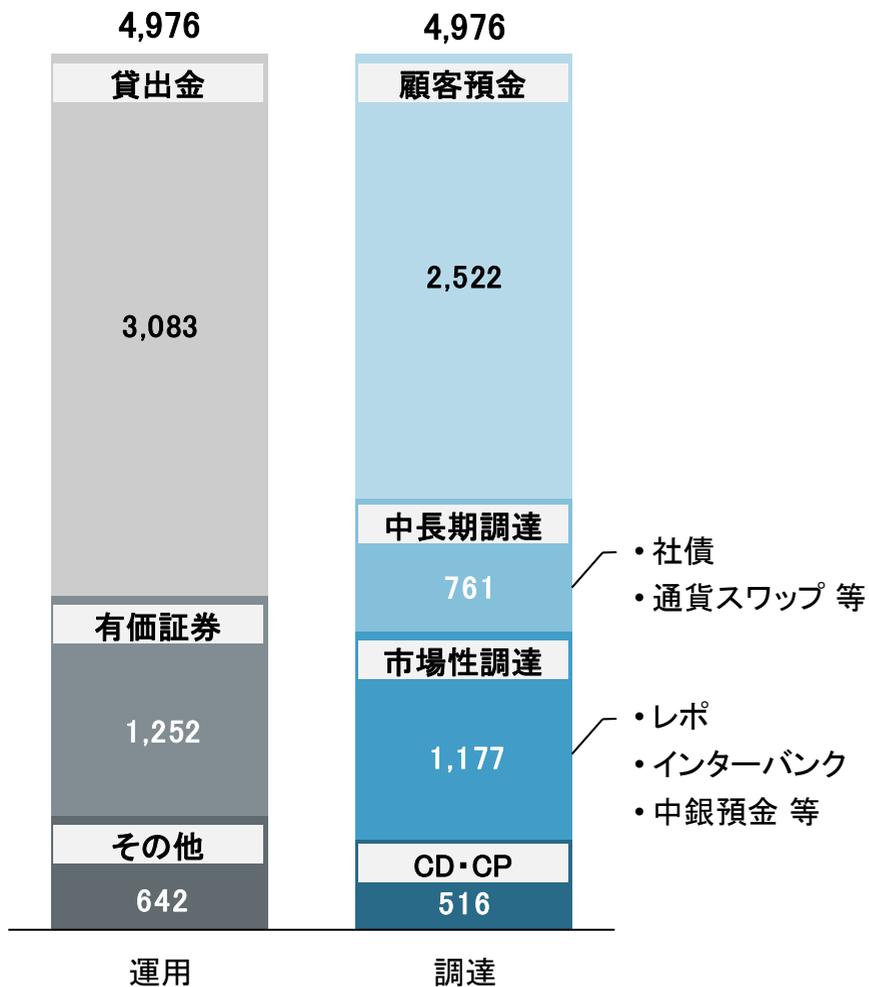


*1: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人) *2: 過去計数も含め、20年度計画レートにてドル換算

外貨ファンディング

外貨運用・調達(2020年6月末) BK、*1、管理会計

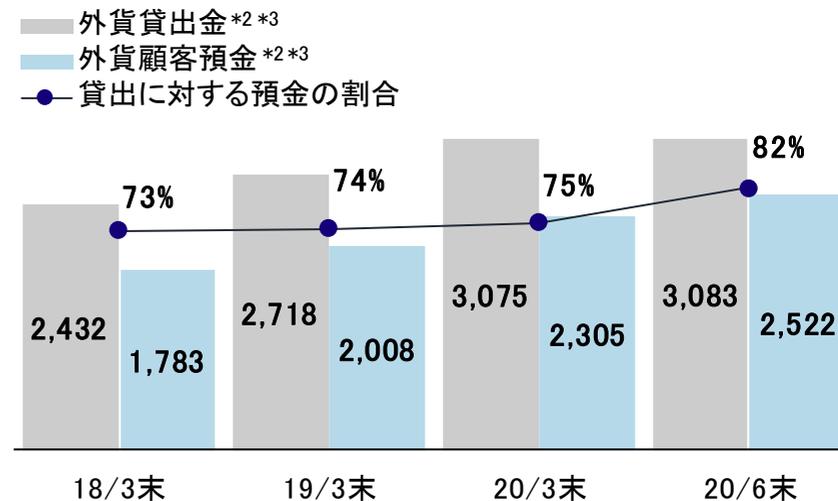
(億ドル)



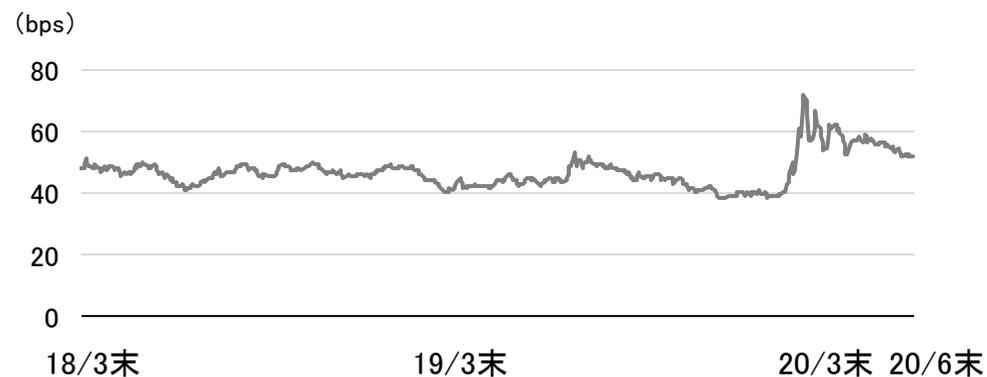
外貨預貸の推移 BK、*1、管理会計

BK、*1、管理会計

(億ドル)



〈参考〉円/米ドルスワップレート(5年)



*1: BK(含む中国・米国・オランダ・インドネシア等現地法人) *2: 過去計数も含め、20年度計画レートにてドル換算 *3: 国内を含む

(出所) Bloomberg

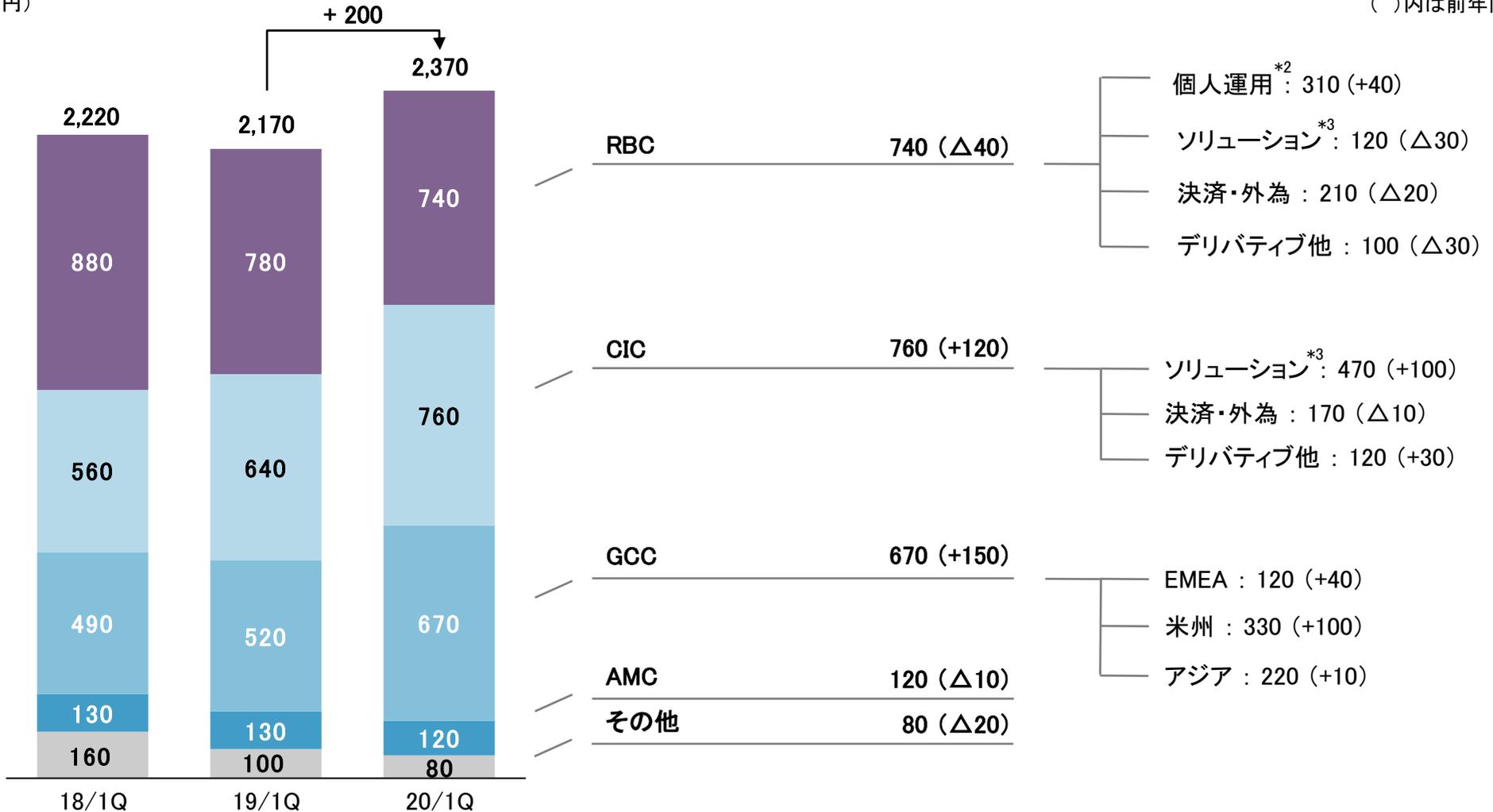
非金利収支

非金利収支(顧客部門)^{*1}

グループ合算、管理会計(概数)

(億円)

()内は前年同期比



*1: 20年度計画レートの適用、管理対象範囲の拡大・精緻化により、過年度計数を遡及修正。変更前の実績は、18/1Q: 2,220億円、19/1Q: 2,180億円

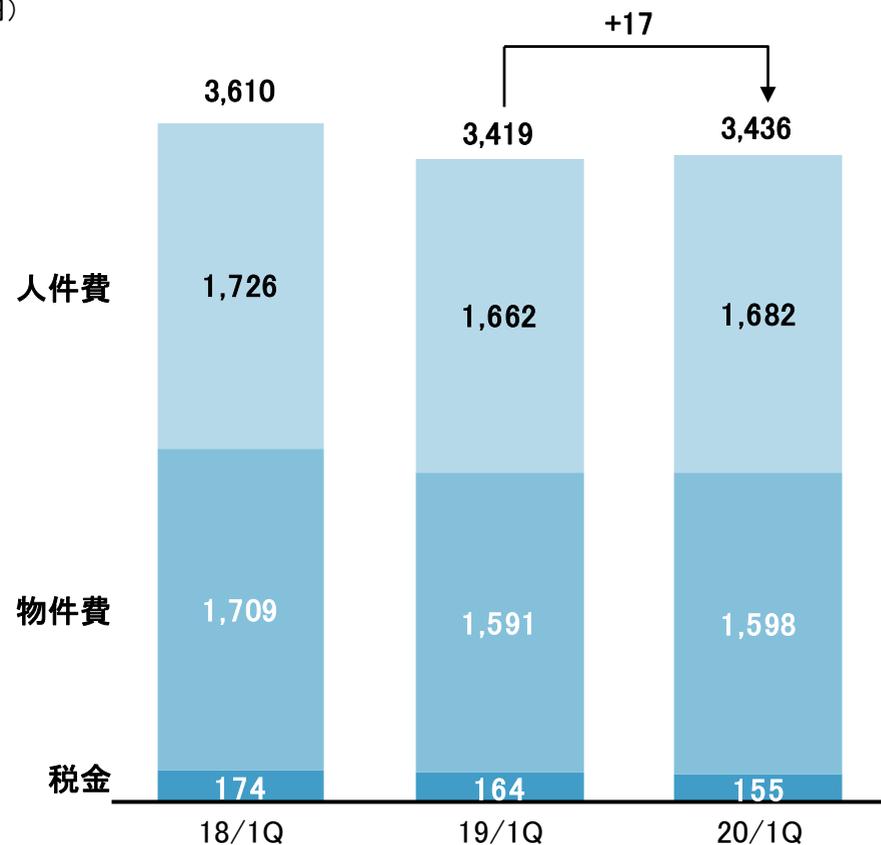
*2: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント *3: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む

営業経費

経費(除く臨時処理分)

連結

(億円)



〈参考〉

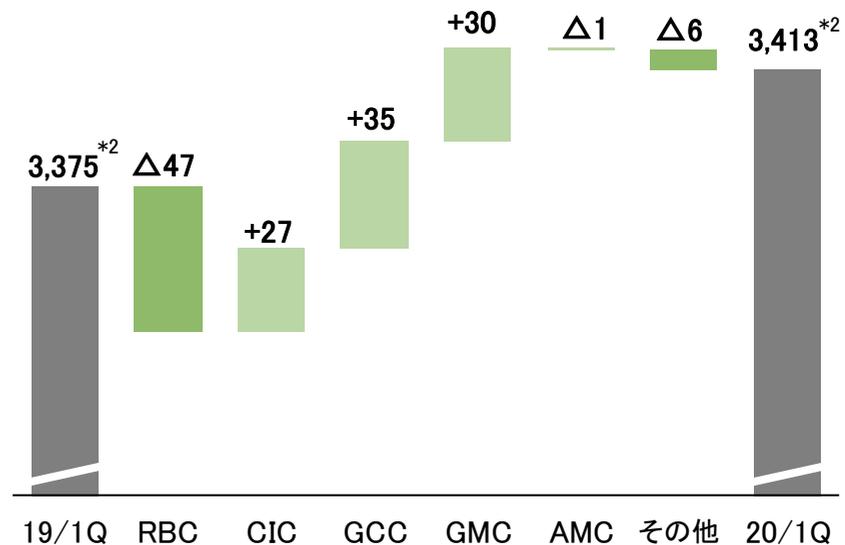
営業経費	3,550	3,284	3,404
うち臨時処理分	△60	△134	△32
のれん等償却	34	33	30

*1: 経費(除く臨時処理分) - のれん等償却 *2: 財管差は、集計対象子会社の範囲、内部取引調整等によるもの

カンパニー別^{*1}

グループ合算、管理会計

(億円)



RBC : 人員スリム化効果、システム構造改革等

CIC : 新勘定系システム償却

GCC : 海外トラバン基盤、海外人件費

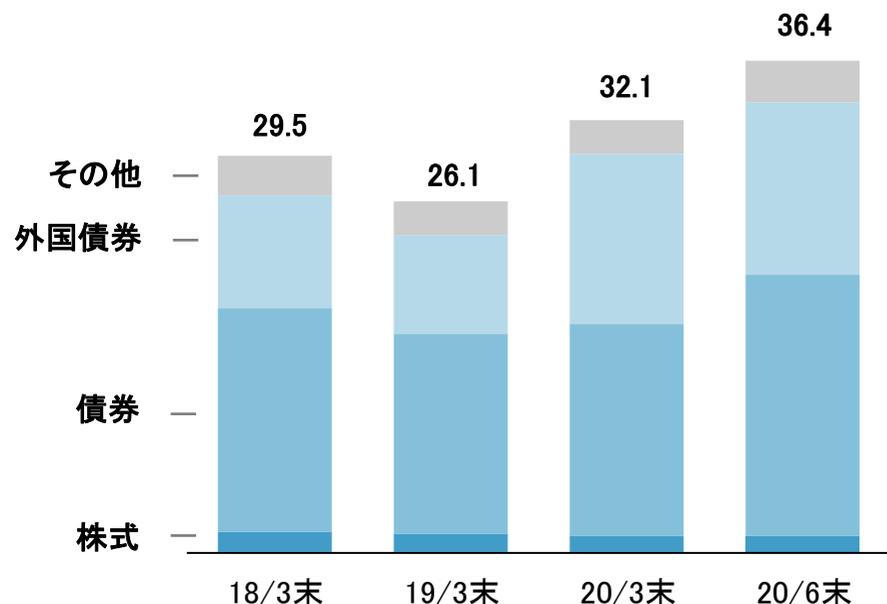
GMC : 新勘定系システム償却、人件費

有価証券ポートフォリオ

その他有価証券残高^{*1}

連結、取得原価

(兆円)

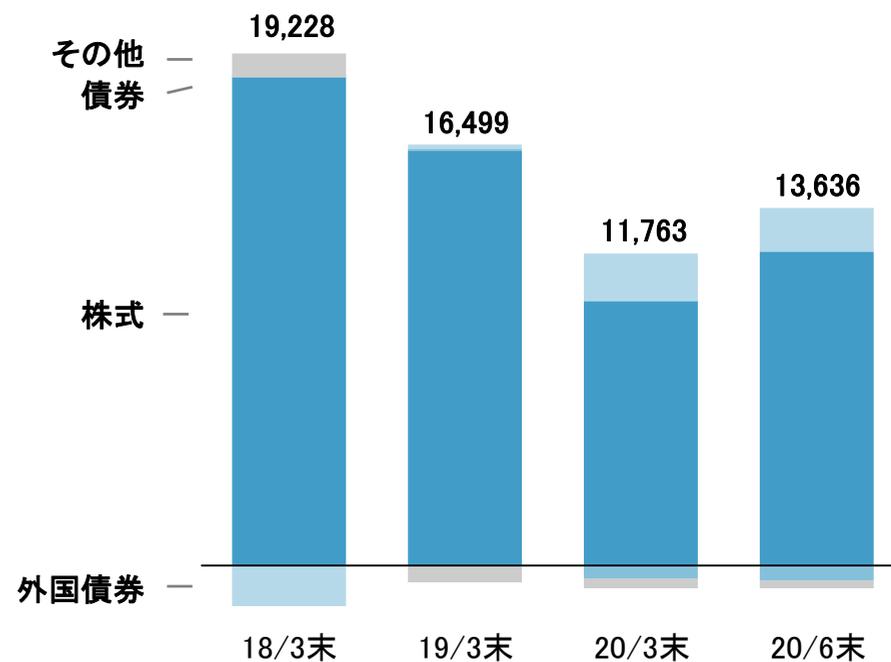


	18/3末	19/3末	20/3末	20/6末
株式	1.5	1.4	1.2	1.2
債券	16.5	14.7	15.7	19.3
うち国債	13.3	11.8	12.6	16.0
外国債券	8.4	7.3	12.5	12.8
うち米国債券 ^{*2*3}	4.2	2.1	8.0	8.8
その他	2.9	2.5	2.6	3.0
うちベアファンド ^{*4}	-	-	0.8	0.8

その他有価証券評価差額^{*1*5}

連結

(億円)



	18/3末	19/3末	20/3末	20/6末
株式	19,842	16,876	10,715	12,756
債券	54	52	△541	△635
うち国債	6	59	△440	△542
外国債券	△1,612	217	2,009	1,803
うち米国債券 ^{*2*3}	△1,612	51	2,344	1,843
その他	944	△646	△420	△288
うちベアファンド ^{*4}	-	-	862	△11

*1: その他有価証券で時価のあるもの。組合出資分を除く。 *2: 米国債・GSE債 *3: 2行合算 *4: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分

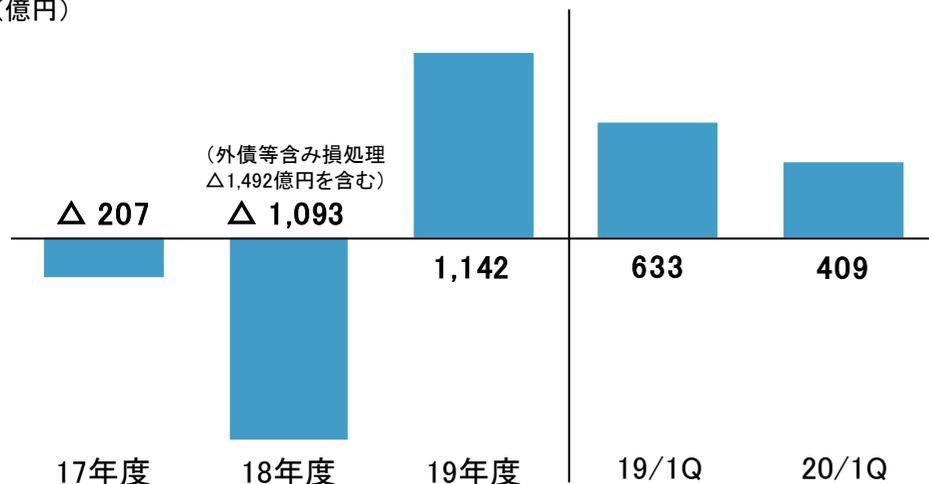
*5: 純資産直入処理対象分。20/6末: 期末日の時価に基づいて算定、18/3末~20/3末: 株式は期末月1か月の月中平均、それ以外は期末日の時価に基づいて算定

債券ポートフォリオ

国債等債券損益

連結

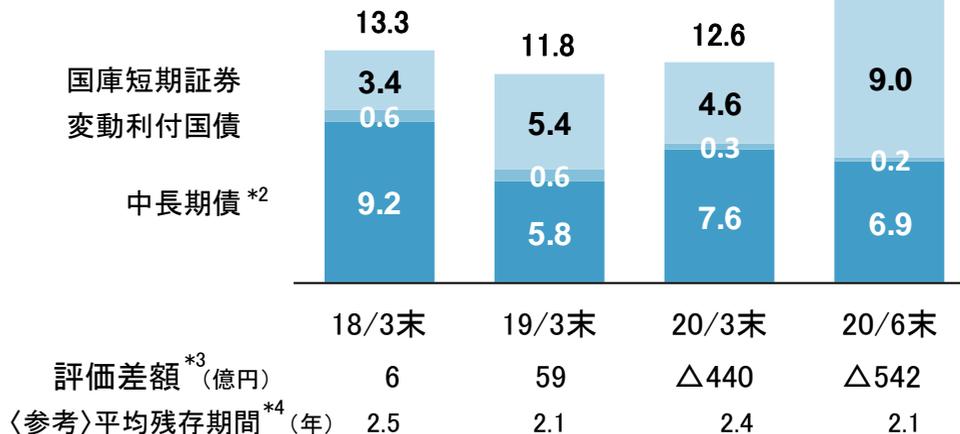
(億円)



日本国債残高^{*1}

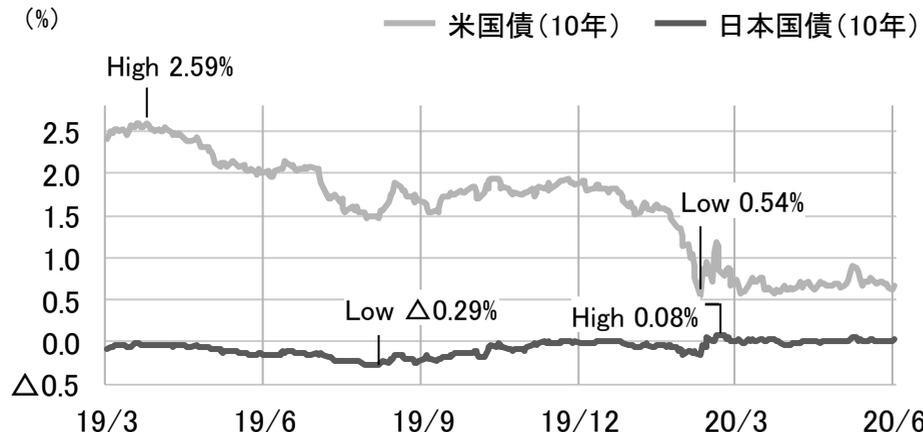
2行合算、取得原価

(兆円)



〈参考〉内外金利

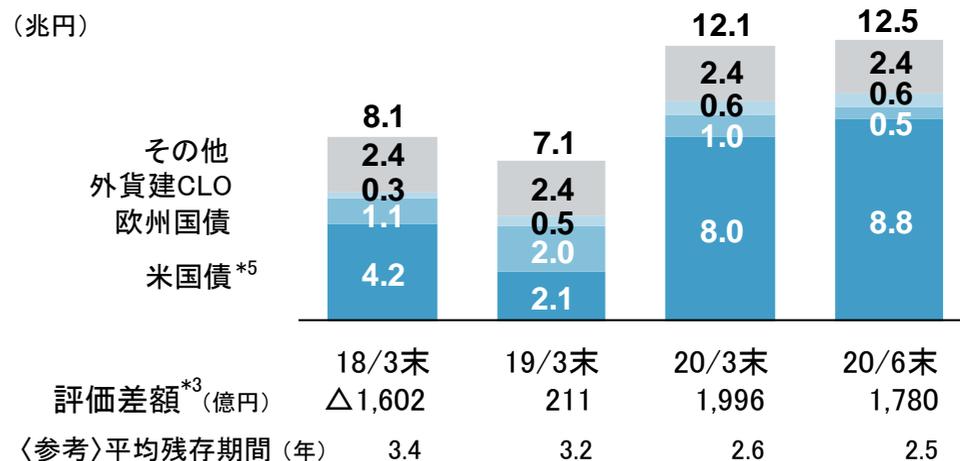
(%)



外国債券残高^{*1}

2行合算、取得原価

(兆円)



*1: その他有価証券で時価のあるもの *2: 残存期間1年以内のものを含む *3: 純資産直入処理対象分。期末日の時価に基づいて算定 *4: 除く変動利付国債 *5: 米国債・GSE債

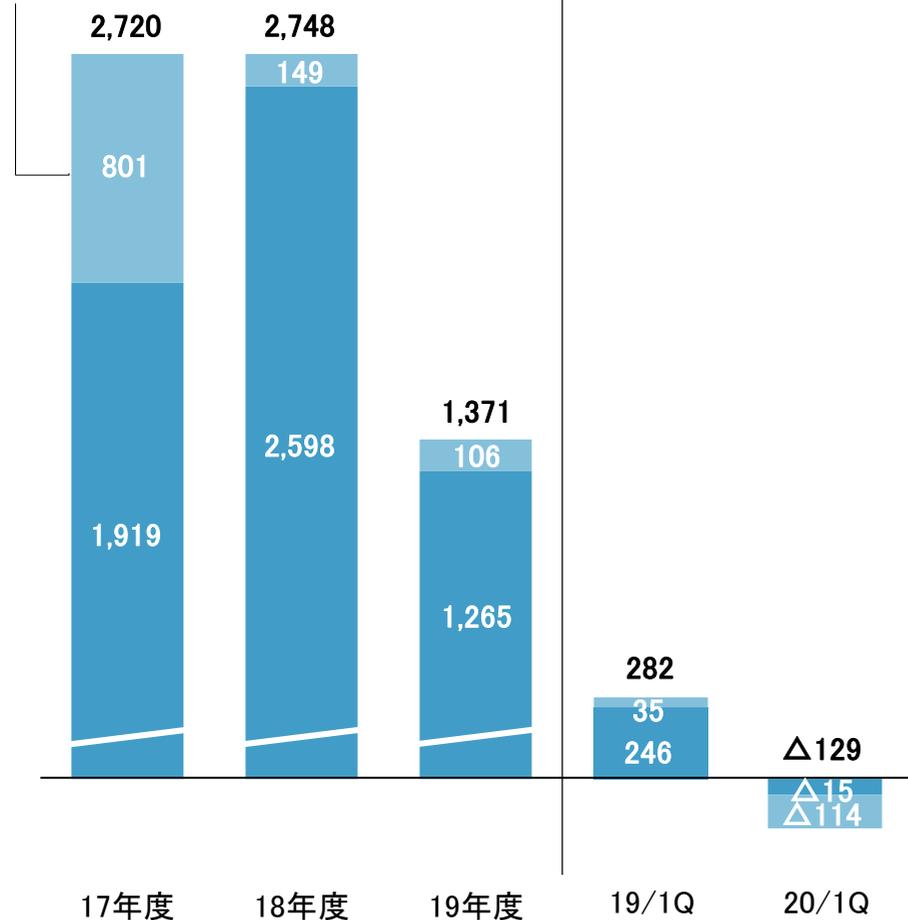
株式ポートフォリオ

株式等関係損益

連結

(億円)

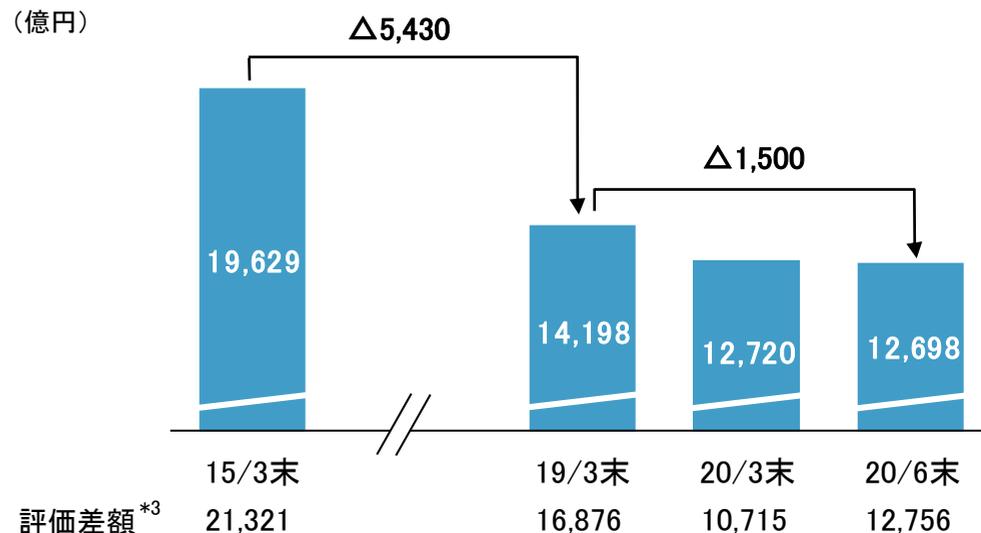
ETF関係損益等^{*1}



株式残高^{*2}

連結、取得原価

(億円)



政策保有株式の削減方針

基本方針

- 株価変動リスクが財務状況に大きな影響を与え得ることに鑑み、保有の意義が認められる場合を除き、保有しない
- 保有意義が認められる場合も、対話を通じて、削減に努める

削減計画

目標 3,000億円削減
(22/3末迄) (19/3末対比)

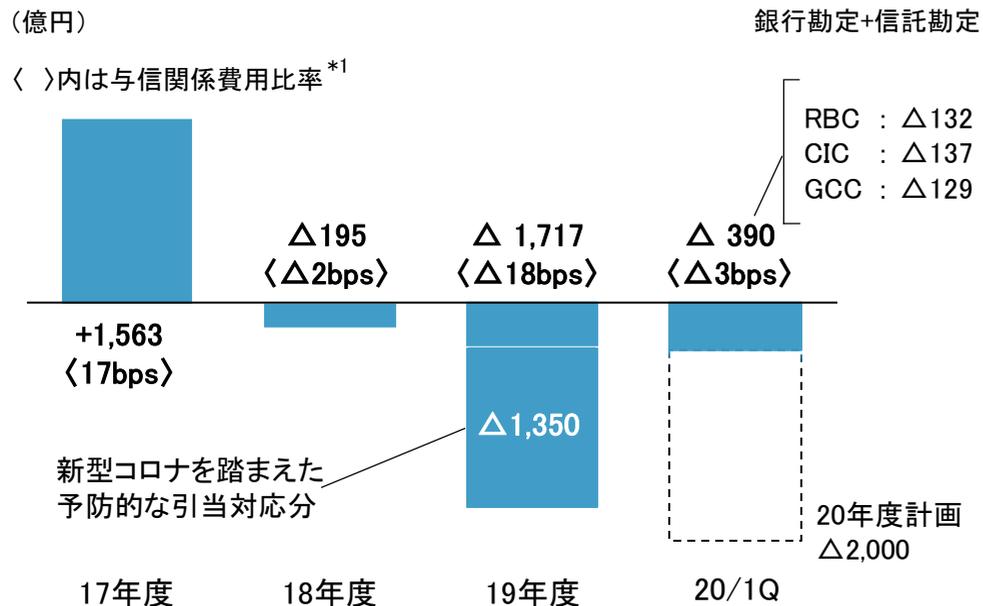
削減進捗 1,500億円
進捗率 50%

*1: ETF関係損益(2行合算) + 営業有価証券等損益(SC連結) *2: その他有価証券で時価のあるもの *3: 純資産直入処理対象分。20/6末: 期末日の時価に基づいて算定、15/3末~20/3末: 期末月1ヶ月の月中平均

アセットクオリティ

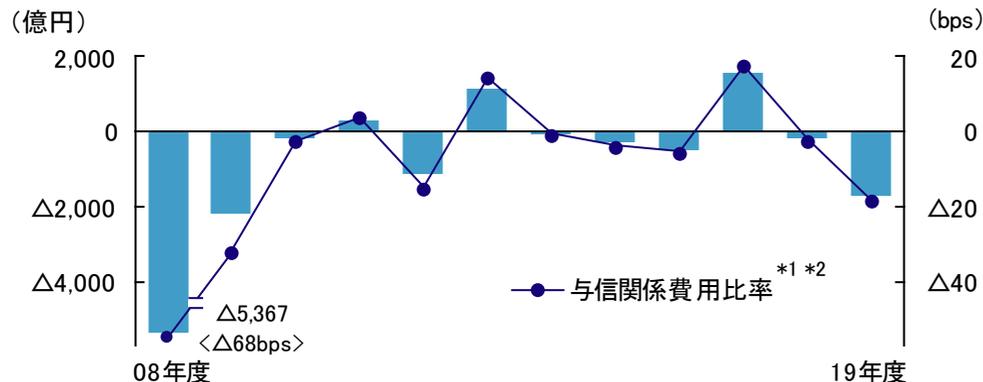
与信関係費用

連結



参考

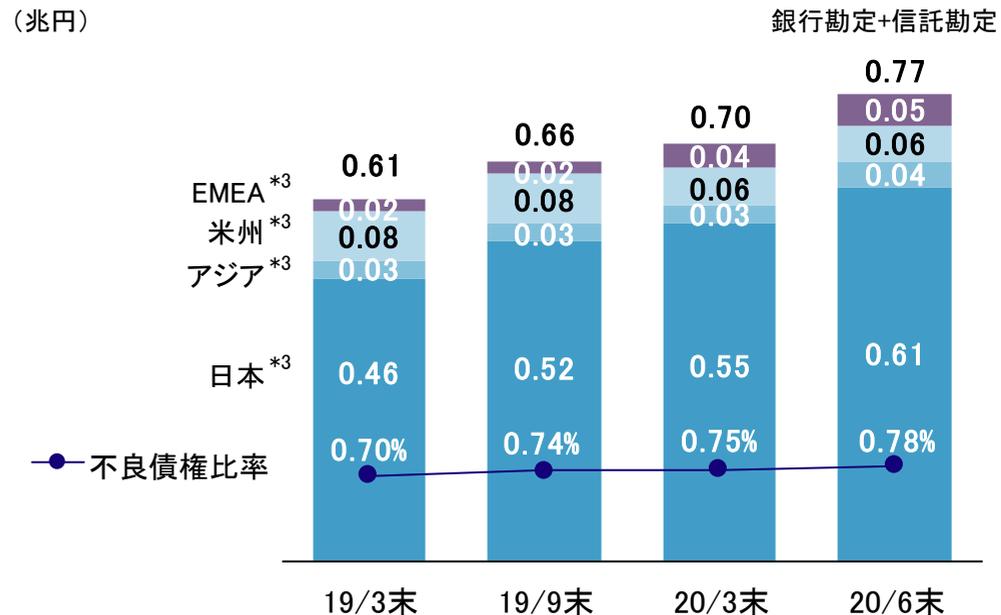
過年度推移



*1: 与信関係費用 / 期末総与信残高 (金融再生法開示債権) *2: 13年度以前は銀行単体合算の期末総与信残高を使用して算出 *3: 代表主管部店ベース

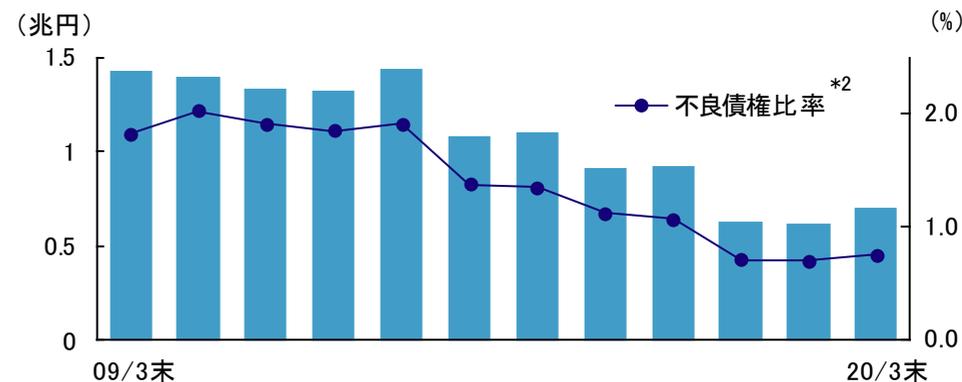
金融再生法開示債権

連結



参考

過年度推移

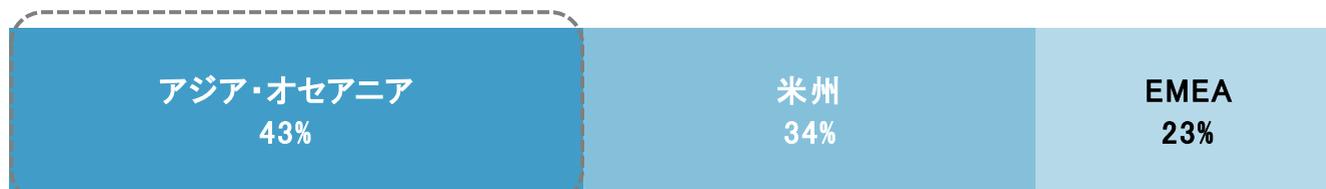


海外貸出ポートフォリオ

海外向け貸出（2020年6月末）

BK*、GCC管理ベース

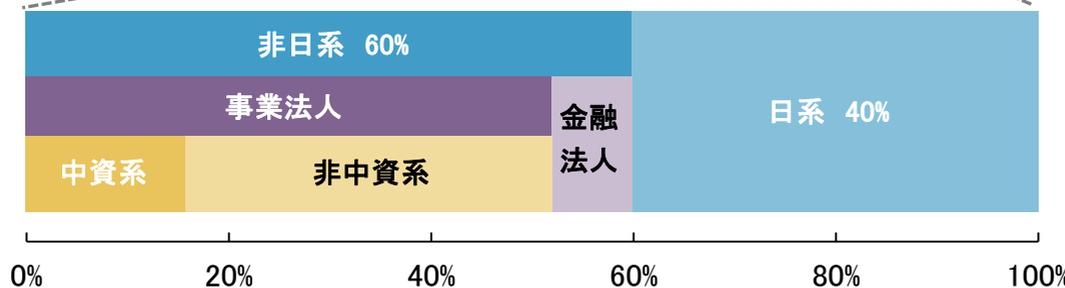
合計 2,847億ドル



アジア・オセアニア
1,229億ドル

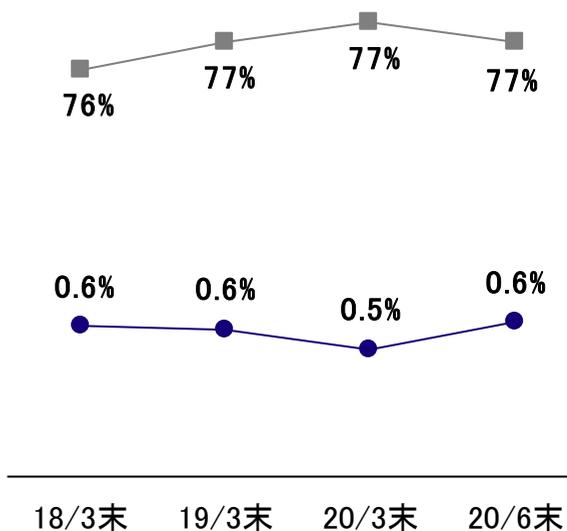


中国
97億ドル



貸出資産の質

- 投資適格相当比率
- 不良債権比率



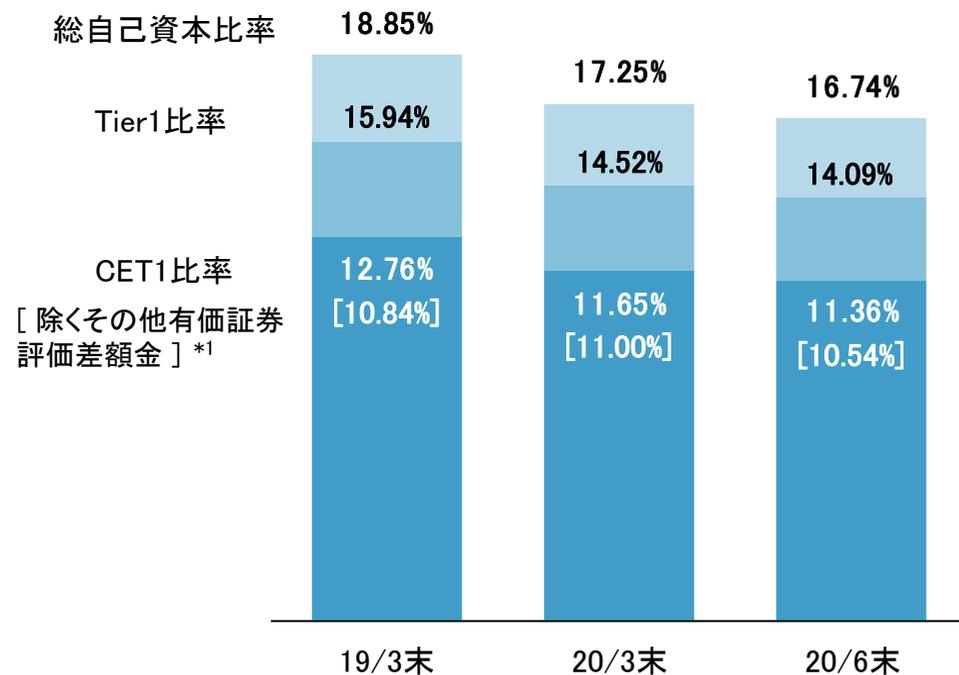
* 含む海外現地法人

バーゼル規制関連

自己資本比率

連結

(億円)



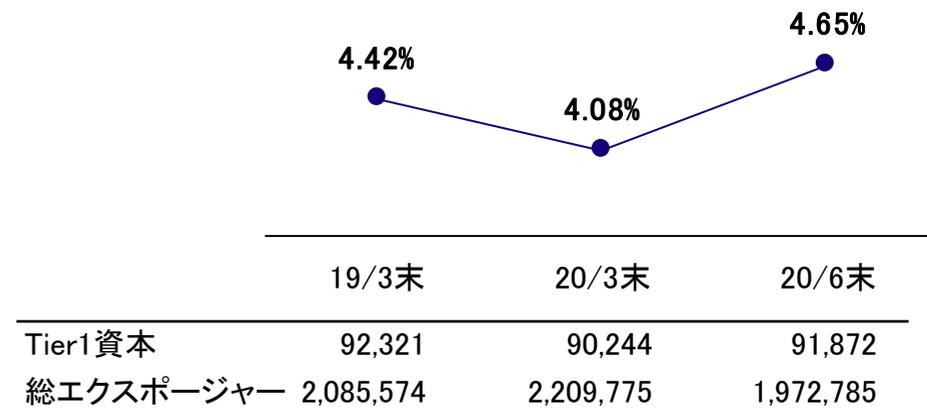
	19/3末	20/3末	20/6末
CET1資本*2	73,900	72,447	74,071
AT1資本 *3	18,421	17,796	17,800
Tier1資本	92,321	90,244	91,872
Tier2資本	16,853	16,978	17,276
総自己資本	109,175	107,222	109,148
リスクアセット	578,995	621,412	651,803

*1: 分子からその他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益、分母からその他有価証券評価差額金(株式)見合いのリスクアセットをそれぞれ控除。ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む
*2: 普通株式等Tier1資本 *3: その他Tier1資本

レバレッジ比率

連結

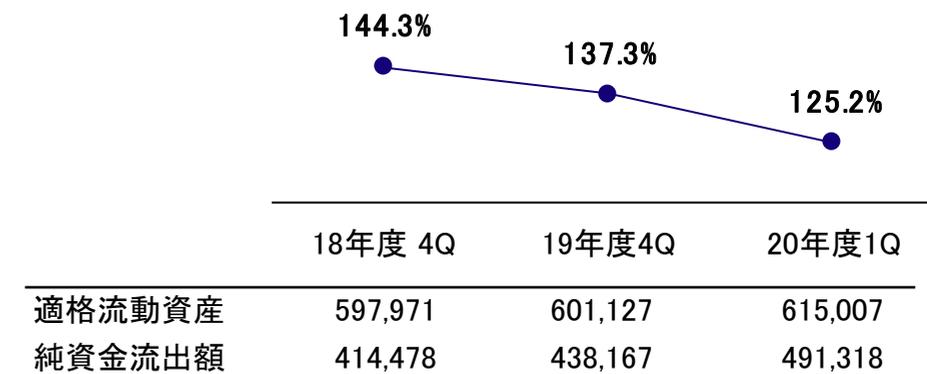
(億円)



流動性カバレッジ比率(LCR)

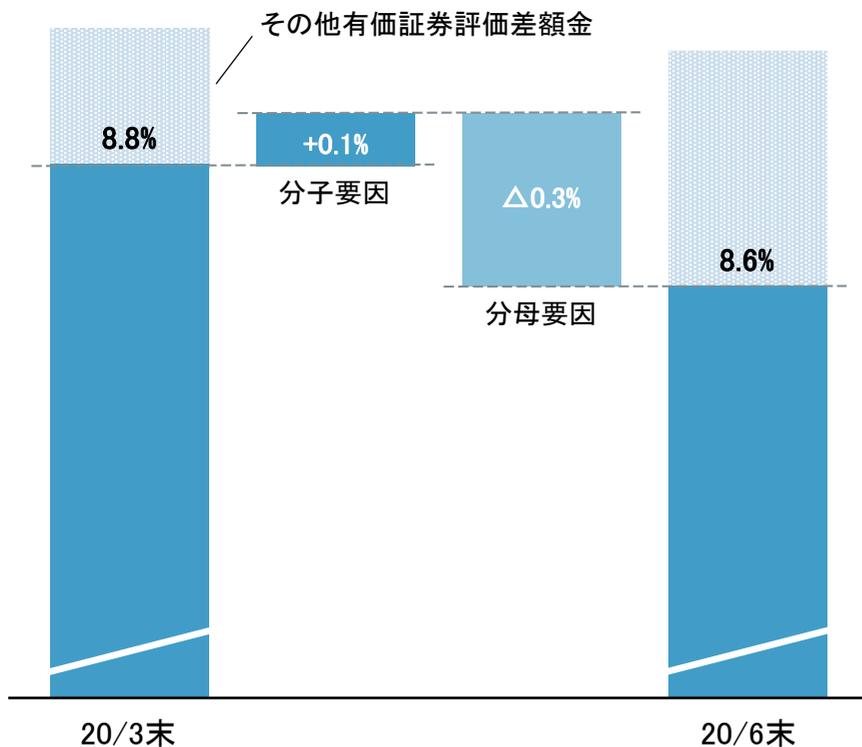
連結

(億円)



CET1比率と株主還元方針

CET1比率(新規制完全適用ベース)^{*1*2}



着実な資本蓄積と株式含み益の一部固定化により
引き続きストレス環境下における資本耐性を維持

株主還元

■ 安定配当を重視する株主還元方針は不変

- 当面は現状の配当水準を維持しつつ、資本基盤の一層の強化を進め早期の株主還元拡充を目指す

一株あたり配当金 2020年度(予想) : 7円50銭

株式併合

■ 10株を1株に併合する株式併合を実施(2020年10月1日予定)

- 望ましい投資単位「5万円以上、50万円未満」への引き上げ^{*3}
- 1株あたり配当について、より肌理細かな設定が可能となり、資本政策の柔軟性が向上

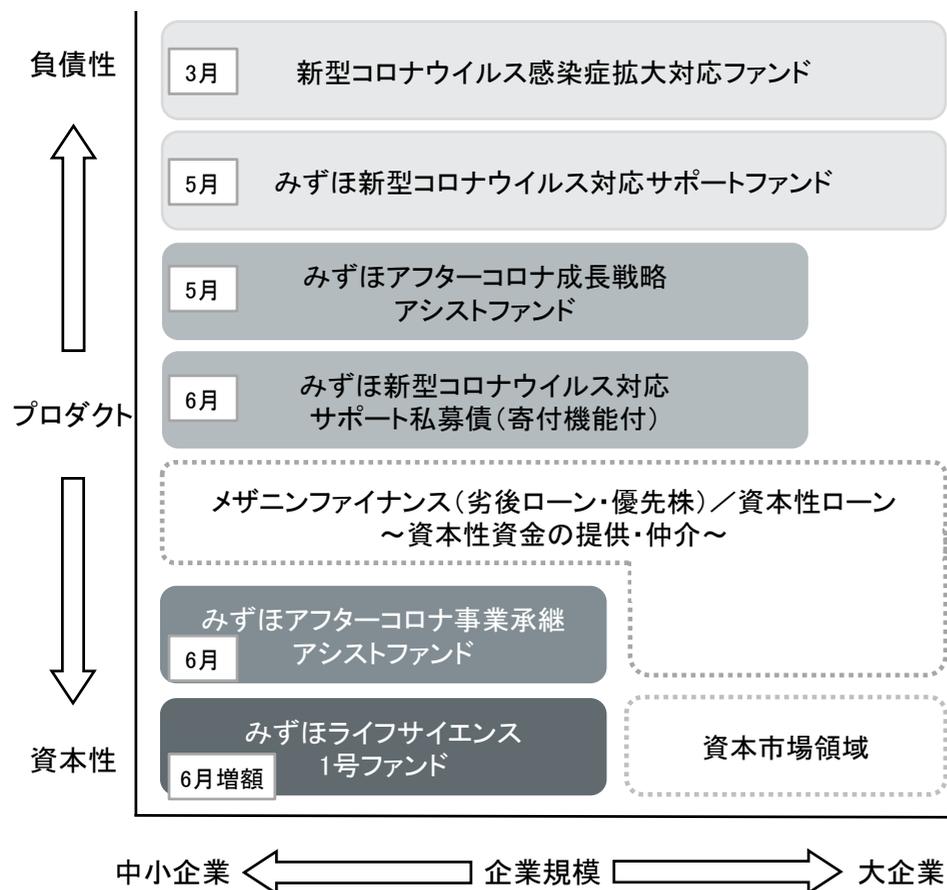
*1: 分子からその他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益、分母からその他有価証券評価差額金(株式)見合いのリスクアセットをそれぞれ控除。ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む

*2: 資本フロアについては、標準的手法によるリスクアセットから引当金見合いを控除して算出 *3: 東京証券取引所、有価証券上場規程第445条

(参考) 新型コロナ禍における取り組み

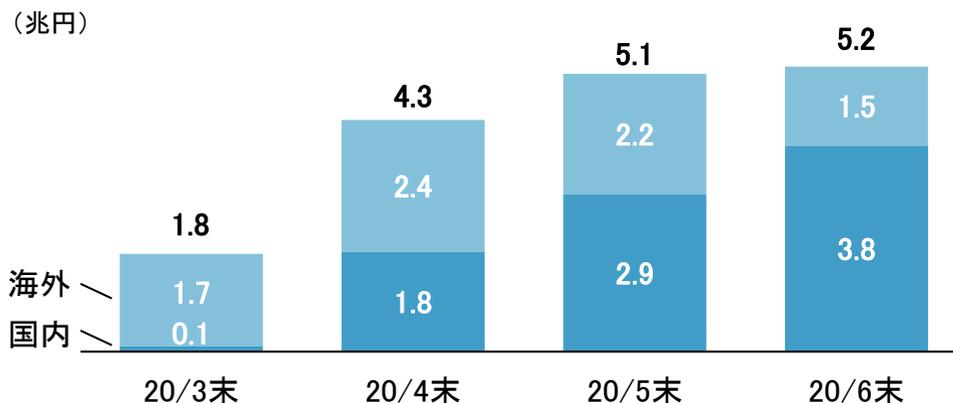
資金繰り支援の全体像*

- 既存の与信枠(コミットメントライン、RCF等)に加え、総額で1兆円を超える新たな資金調達手段を提供



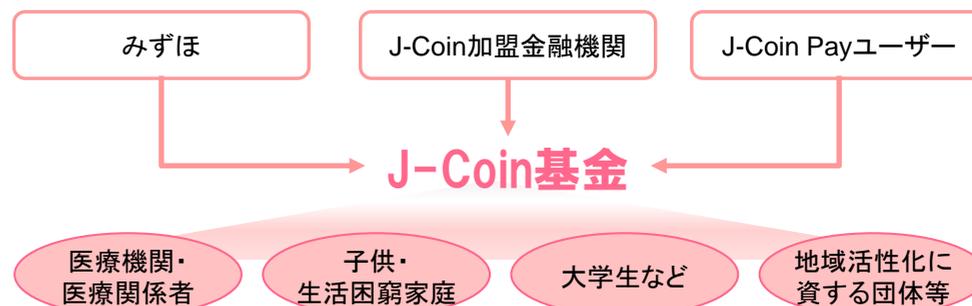
新型コロナ関連貸出金残高(末残) 管理会計

- 貸出金の増加ペースは鈍化するも、国内中堅・中小企業の借入ニーズは引き続き高い状況



「J-Coin基金」の設立

- J-Coinのプラットフォームを活用し、新型コロナの影響を受けた団体や個人を支援する基金を設立



* 詳細は2020年5月28日付プレスリリース「新型コロナウイルス感染症に対する〈みずほ〉の取り組みについて」ご参照